



会長	紺野 広	青少年奉仕	夏川戸 齊
副会長	橋本 昭一	幹事	松本 剛典
クラブ奉仕		会計	妻神 和憲
会長エレクト	橋本八右衛門	会場監督	佐々木泰宏
職業奉仕	道尻 誠助	直前会長	小林 幹夫
社会奉仕	岡崎 孝文	副幹事	小田山紀暢
国際奉仕	鶴飼 寿栄	会計補佐	小井田和哉

例会日	毎週水曜日 12:30	例会場	八戸グランドホテル
事務所	八戸市番町14		八戸グランドホテル内
	電話 (43) 0608	FAX	(43) 0661
	e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp		
	http://hachinohe-rotary.org/		
会報・広報委員長	峯 正一	同副委員長	上村 奉樹
同委員	妻神 和憲	同委員	野村 一雄

国際ロータリーのテーマ — 2023~24 — 八戸ロータリークラブのテーマ
世界に希望を生み出そう **和而不同 (わじふどう)**

国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー

八戸ロータリークラブ会長 紺野 広

1 月 は 職 業 奉 仕 月 間 で す

第 3 2 9 8 回 例 会 2 0 2 4 . 1 . 1 0

会 長 要 件 紺野 広 会 長



1月1日の令和6年能登地震の被災者の皆様に対する黙祷を例会の最初をお願いしたいと思います。新聞報道では200名を超えました。まだ行方不明者もいる状況で、もっともっと増えるかも知れません。

黙 祷

昨年は築館ガバナー輩出クラブということでPETS、DTTS、地区協議会、地区大会、基隆70周年も重なって多忙な年でありました。皆さん本当にありがとうございました。

今年は今年度の当クラブの後半年度に入りまして、橋本八右衛門さんの年度も今月からスタートし、第1回準備理事役員会が開催されます。残り半年に何をやるかということですが、今月31日に八戸市長熊谷雄一さんをお迎えして、八戸市と八戸ロータリークラブの災害協定の締結を行いたいと思います。

元々地区で発案されて、地区で県との締結

を目指しておりますけれども、実際に災害が起きたとき、迅速に動くために、まず近隣の八戸市と締結という形をとらせていただこうと思います。市内6クラブありますが、八戸市と締結にするにあたり5クラブにもお声がけしようかと迷いましたが、いずれ県と締結すれば自由に動けますので、そちらを地区でできるだけ早く進めていただければいいのではと考え、そういう形にしました。南グループの括りでは郡部も入りますので、市との締結ではちょっと違和感があるということで、そういう形にさせていただきました。1月31日は熊谷市長がいらっしゃいますので、例会の後半部分で卓話をしていただきます。

能登地震ですが、わたしは東日本にも熊本地震にも行って参りましたが、熊本地震を遙かに凌ぐ規模の被災で、当八戸赤十字病院からも救護班を派遣しています。きょうは日本赤十字社全体の動きをご報告したいと思いますので、会長要件の時間を使わせていただきます。

当院の動きは後日お話いたしますが、やはり現地はひじょうに大変ということでした。毎日1時間おきに定時報告が入っております

が、ひじょうに大変ということでした。市との災害締結をするにあたり、われわれが日頃災害時にどういう動きをしているのか、お互いに知っておくことも大切かということで、渡辺プログラム委員長に主にライフラインを担っている企業からお話をいただこうと思っています。1月の残りの3回の例会を使って、少しずつお互いを知るための時間としたいと思っています。

マグニチュード7.6、半島近隣直下が震源地であったために能登半島先端部、突端部の被害がひじょうに大きかった地震です。8日2時までのデータで1,219回の地震があり、震度7が1回、震度6弱1回、震度5強7回。津波も一部では4mの高さになったという地震です。4県39市11町1村に災害救助法が適応されました。8日時点で168名の死者を数えました。きょうは病院支援の内容は入れませんので、重傷者、軽症者に対する日赤の活動に対する写真は載せていません。

住宅被害は新潟で227、富山で659、石川で401。人的被害は石川県が飛び抜けて多いです。永澤さんのところは被災住宅の評価に入っているということでした。電気関係業界もライフライン復旧にいろんな方面から支援が入っているということです。来週は堤さんからも電力関係の支援に関してお話をいただこうと思います。

避難者数について、一番多いのは火災のあった輪島市で火災等で住宅を失った方が多く12,428名、次いで珠洲市の5,617名、石川県全体で30,000人弱の避難者数です。避難所も400に及んでいます。これはそれぞれ評価の必要な避難所です。われわれ救護班の送って来た写真を見ますと高齢者が多く、暖を取るのにストーブの周りに集まって、配給された毛布に包まって暖を取っている状況です。断水は富山で4,278戸、石川県70,000弱ということです。栗谷川さんは東日本大震災のときは復旧に尽力されたそうですので、どういう活動をされたか教えていただきたいと思います。電力関係では北陸電力管内で14,000戸の停電だそうです。

8日の時点での日赤救護班の派遣はだいたい7名を基本とした構成で40班です。コーディネーターチームは主に災害活動拠点本部の医療系の起点本部に出す班です。石川県支部にも派遣されます。先ほど石川県の被災者数を30,000人弱とお知らせしましたが、日赤から毛布を約16,000枚ほどを2～3日までに搬送しました。安眠セット、救急セット、簡易トイレ3,400個。

われわれ青森県支部八戸赤十字病院は第1ブロックに所属しています。各ブロックから内容を決めて支援するのが災害時の日赤の体制です。珠洲市では当院の班が今、活動中です。珠洲市にはコーディネーターチームが1チーム、われわれ病院を含め5班が活動しています。被害の大きい輪島、能登にも出しています。

1ブロックの上から3番目に当院があります。1月7日に出ましたが、デーリー東北に写真入りで記事にさせていただきありがとうございます。14日から第2班を出すことになっており、その取材には東奥日報も来てくれるそうです。早いところは発生翌日の2日から出ていて、山梨などはそうです。3ブロック（中部・北陸）、現場を含めた地区からは翌日に県庁に入ってアセスメントを行っています。各病院へ入っています。七尾市の能登公立病院が活動拠点本部になっています。こういう大きい病院は幸いなことに機能を残していますが、医療需要は供給が追い付かないという状況です。救護班のほかに看護師、医師の病院への支援が要請されています。第6ブロック（九州福岡）まで動いている状況です。

活動を終了した班もあります。2ブロック（武蔵野・前橋）は発生翌日から多くの病院の班がいろいろな病院に入って活動を支援しましたが、病院内の凄惨なところは抜いてありますが、活動中の写真です。2日から入りました。いろんなところにいろんな情報がありますので、内閣でも県庁にも人を派遣して情報収集をしながら活動をしています。

現地に行った者から聞きますと、道路事情がひじょうに悪いということで、陥没した道

路、土砂災害で通行止め、片側通行になったりと、珠洲市まで到達するのに1日半かかるという状況でした。避難所アセスメントに行くのに自衛隊と共に徒歩1時間という状況で、なかなか物資が届かないというメディアの情報通りの状況のようです。日赤からの支援物資は、先程申し上げたもののほかに設置型簡易トイレ、鍋セット、コンロ、タオル、耐冷手袋、タオルケット、敷布なども送っています。

日赤に無線奉仕団もあります。青少年赤十字(JRC)など日頃いろいろな活動していますが、そういう中から無線奉仕団(青森県には十和田にもあります。)の方々も現地の避難所の連絡等に一役かっています。避難所は通信状態が悪いため衛生隊を電波の悪い避難所に置いてきたりという活動をしています。

義援金は赤十字社が窓口になっている義援金が多いです。慢性期には被災者用住宅などが完成すればテレビなどの5点セットを被災者認定を受けた方々の避難住宅に届ける活動もしています。急性期には先ほどお示した通り、翌日には評価が入り、各病院に人を派遣する活動をしていますので備蓄が必要です。この義援金はこの備蓄にも使われます。日赤に義援金をいただければ、病院ではなく全部災害関係のお金として役立たせていただいています。行政にお金を送るのも一つです。やはり一番要望を持っている行政に送るのも一つです。

今月の理事会で義援金に関してクラブ内で少し話し合いをしたいと思います。すでに国の予備金を倍額する話もあります。お金に関しては恐らく急がなくてもいいと思います。東日本大震災の時に設立された「ロータリーみどりの風奨学金」、親を亡くした子供に対する奨学金制度もゆっくり考えてもいいのかもしれない。

われわれができることを考えていくために、いろいろなライフライン関係の方々、いろいろな職種の方々がこういう災害の時に活躍されていると思いますが、クラブ内で知らな

いことが大きすぎますので、取りあえずは相互理解を深めた上で市との協定に臨み、市、行政を含めた今後の災害に関してのクラブの関りをみんなで考えていきたいと思えます。今年度の後半の一つの課題として災害ということにも携わっていきたいと考えています。

乾杯：紺野会長

令和6年のスタートを切るに当たり、皆さんで心をつなげて乾杯したいと思います。橋本八右衛門さんのスタートも今月からでしょうから、そのスタート、次年度がうまくいきますように、今年度の後半も大過なく、そして八戸ロータリークラブとして地域にしっかり貢献できる年度として終われるように、皆様のご協力をお願いして乾杯したいと思います。

幹事報告 松本 剛典 幹事



- ロータリーレートのお知らせ
1月1日より、1ドル=141円
- 来週の新年例会は会場はプラザホテル クリスタルホールに変更になりました。出席

の皆様には改めて事務局よりご連絡いたします。

委員会報告

親睦・会場委員会

宮下 悟委員



- ニコニコボックスの報告

- ・誕生祝 今 彰夫
山田慶次・夏川戸 斉
加藤範尚さん

- ・奥様誕生祝

築館智大・永澤 信さん

- ・結婚記念日 築館智大・永澤 信さん

今年もよろしくお祈りします。

佐々木泰宏・道尻誠助・妻神和憲・赤澤栄治
上村奉樹・山村和芳・増田 敏・渡辺 孝
橋本八右衛門・栗谷川敏彦・小田山紀暢

熊谷清一・中村稔彦 } ニコニコデー
正部家淳司・浜谷英幸 }

年男の抱負



道尻誠助さん

新年明けましておめでとうございます。小さい頃から自分の生れて来た役割はあるのかなとずっと考えてきましたが、見つからないまま現在になっています。アントニオ猪木が「元気があれば何でもできる」とお話しをされていましたが、元気は出てもこの年になればできないことのほうが多くなっていると感じています。何かこれからやれるとすれば、今まで意外と自分のことばかり考えてきたような人生だった気がしますが、これからは少し周りのことを考えるようにしていければと思っています。なかなかこれは自分の欲との戦いもあるし、口では言ってもそれを実践するのはなかなか難しいのですが、まずは自分の家庭の中で修行しながら、辿り着ければなと思っています。

ゆっくりでもコツコツやっていければ、寿命が尽きる前に到達できるのではないかという目標を立てながらやっていこうと思っています。基本的には良い人間にはなれないと思いますが、近づいていければと思っています。ロータリーに入ったことで最近楽しくなってきました。20年くらい経ってからの話です。入会当初はまだそんなに自分の中でロータリーと生活がまだフィットしていなかったのですが、数年前から何となくそれがわかるようになってきて、先輩方が言う、入ってみればわかるということが徐々に分かってきました。後輩の方々にも少しでもサポートできればと思っています。

きょう一番感じたことは、もしわたしが豚に生まれたり食べられた食事ですし、お米に生まれたり食べられた食事ですが、何か人の役に立ちながら、豚は豚で役割を果たしています。今年辰年です。漢方の世界では土龍と書いてミミズといますが、結果的に地球

に肥沃な土を作っていく、目には見えない世界ですが、それを目指して頑張っていきたいと思っています。



渡辺 孝さん

昭和27年生まれ72才になりました。辰年生まれです。道尻さんと一緒です。道尻さんも言っていましたが、この年になると体がきかなくなることもあります。道尻さんはいろんな薬を持っているはずなので少しわたしも分けていただきたいと思っています。

72才で年男ですが、実際に年男を意識し始めたのは60才の時です。60才の時に思ったのは今までの人生は捨てて、新しい人生を歩み出そうというふうに気持ちを切り替えようと思いました。で、少し切り換えてみました。当然今のしごらみがありますので、なかなかそうもいかないところもあります。会社のほうは70才になったときにあまり口出しをしないで、できるだけ任せてやってもらうように考えています。ですから、任せると張り切ってやってくれるようになりました。あと3年くらいしたらリタイアはできないけれども、リタイアのような感じを考えています。

60才で生まれ変わったとすると、今ちょうど12才、中学校くらいになります。何を考えているか。やはりいろんなことをやってみたいと思っています。ですからあと3年間、会社を渡す努力をしながら自分自身もいろんなことをやってみたいと思います。

この業界はソフトがいろいろありまして、昨年新しいソフトを入れてそれを覚えなければならぬ。けっこう覚えることをやっていながら、この3年過ごして75才になったら、ちょうど15才になりますので中学校を卒業。そこから先は高校生にならないで何かの稼ぐようなことをやって24才(84才)までは何とか生きていけるだろう。

そこから先はまったく分かりませんが、できるだけピンピンコロリ。わたしの周りでもピンピンコロリで亡くなった方がいますが、

羨ましいと思いますので、できるだけそれに近づいて、ピンピンコロリを目指してこれから生きていくつもりですので、よろしく願います。



浜谷英幸さん

わたしは昭和39年生まれ、今年60才の年男、還暦で最後の厄年となりました。厄年ですが、元々は中国で陰陽道からきたもので、日本では平安時代から厄年という考え方があって、厄落としをしていたという書物も残っているそうです。進路学者の三浦さんは「経験則的にこの時期は人生の節目になる年とされる」と述べていました。身体も心もということを書いていと聞いています。世界的にいいましてもイスラム教徒のエジプトやトルコ、キリスト教徒の多いイギリスやスペインでも厄年の考え方あります。数字はまったく違いますが、そういう考え方が全世界にあるそうです。スペイン風厄落としは馬肉を食べて一晩中飲み明かすそうなので、今年使いたいと思っていました。

今年は年始からいろいろ災害が起こりまして、やはり東日本大震災を経験した者にはひじょうにつらい映像がテレビを通じて入ってきます。わたしたち報道する側でも東日本大震災を撮影、編集の中で、テレビに出るものは一部ですし、出してはいけないものもありますが、そういったものを撮影、編集した人間はやはり今回の能登半島地震の映像を見て過去取材した経験がよみがえって、体調不良で出社できない人間がいろいろ出ているという話も聞いています。わたしも今回の震災に関して、少しでも役に立てる事業のお手伝いをいろいろしたいと思っております。

そもそも厄年、年男という話ですが、一般的には厄年は禍にあいやすいと言われていますが、“役”に立つ役年、役に立つ人という見方もあるようです。今年の目標は役に立つことを念頭において、今年はロータリーでもぜひ頑張らせて頂きたいと思っています。仕事では今まで培ったいろいろな経験や知識を

次世代に伝えることを本格的にやっつけていこうかと思っています。

大事な家族のことですが、今年も悪いことはせず、家の中では役に立つよう、そして穏やかに過ごしていこうと思っています。ただ自分の趣味のオートバイは今年は新しい地区、まだ走ったことのない紀伊半島や山陰のツーリングにチャレンジして、バイクから見る風景という引き出しをさらに増やしていこうと思っています。



鈴木隆広さん

N T T東日本の鈴木です。能登地震で被害に遭われた方と羽田空港事故で亡くなった方にお見舞いとお悔やみを申し上げます。弊社は通信事業をしております、災害時に関してはグループ全体で通信がつながるように連携しています。今はdocomoのほうが無線という形で入っていて、N T T東日本の固定回線はある程度整備ができてから入っていけるような形で、今検討しています。先ほど会長からもお話がありましたが、東日本大震災時についてもお時間をご説明させていただくこともできるかと思っています。

わたしは10月に着任してロータリークラブに3回目で参加させていただくタイミングで、こういった形で年男のスピーチをさせていただいてひじょうに光栄だということと、自分自身持っているなと思っています。

10月に八戸に来たということで、八戸のエリアを十分に楽しみたいと思っています。2月のえんぶり、三社大祭、キリスト祭などを含めて楽しんでいきたいと思っています。今年はパリオリンピックの年です。前回の東京オリンピック時は仙台にいましたので、サッカーを見に行く形で参加させていただきました。今回もオリンピックがあるということで、自分自身も運動しようかと思っています。今もハーフマラソンやフルマラソンは走らせてもらっています。4月の青森のマラソンにもエントリーしています。タイム的にハーフマ

ラソンを90分を切るのを目標に立てて頑張っていこうと思っています。90分を切るというのは、ゴルフで言うとシングルくらいです。まずはハーフマラソン90分を切ることを目標に努力していきます。今年は八戸も雪が少ないみたいで、正月明けに仙台から帰ってきてもこちらでジョギングができましたので、そういう形で脚を作りながら、春先になったらもう少し走り込むようにしていきたいと思っています。

仕事のほうもしっかりやっっていこうと思っています。弊社は“つなぐ”という意識をもって会社では実行させてもらっています。回線、通信をつなぐということもそうですし、循環型社会を創ろうということで、地域の皆さんにこういった形でわれわれのスキルなど持っているものを提供できるかをロータリークラブの中でもきちんとお話しできるかと思っています。生成AIの使い方、ICTの活用なども皆さんと連携しながら全体として進めていきたいと思っています。

3分間スピーチ

中村稔彦さん



築館ガバナーの月信の紹介をしたいと思っています。ガバナー月信を知っている人はどのくらいいるのかと思います。半分は知らないかもと実は思っています。なぜ紹介をするかという、実はわたしが編集をやっているからで、お知らせするいい機会かと思い紹介します。

毎月ガバナー月信を出しています。皆さんに紙で配るのではなく、地区のHPでネット配信の形で出しています。今年の1月新春号は実はまだ出ていません。明日送り出したいと思っています。何が書かれているか。やはり一番はガバナーメッセージ、築館さんのメッセージが冒頭にあり、いろいろな記事、

前月の記事を載せます。会員の動向、出席率、行事予定などが載っています。7月から始まり、築館ガバナーメッセージ、ガバナー公式訪問報告は石橋信雄さんが書いていて、1月号で最後の報告になります。

新春号のメインの記事は半年を振り返ってということで、6人のガバナー補佐に書いていただいています。わたしも全部読みましたが、すごくおもしろい記事だったと思います。メインは前半6カ月で何をやったか。特に奉仕活動がメインです。スポーツを通しての交流、さらに体が不自由な方と野球やボッチャで交流した。ゴルフをやった。ポリオ関連、各種募金、寄付の記事。その他としてIM開催、エコバック製作などの記事が前半にありました。

インターアクトと一緒に事業をしたという記事もありました。南グループだけではなく他のグループで何をやっているのかもすごくよくわかります。下半期の活動も期待しています。

これは地区の月信ですが、全国の他地区のガバナー月信も読めますので、参考になると思います。皆さんもネットで見ていただきたいと思っています。

12月に2830地区のメンバーでパキスタンにポリオ接種ボランティアで行きましたが、その記事を地区委員長の堀内さんをお願いしていますので、2月号に載せたいと考えています。いろいろ参考になる記事が多いので、ぜひ皆さんお読みいただければと思います。



栗谷川敏彦さん

能登の震災もありましたので避難グッズを紹介したいと思っています。

出席報告					出席委員会		
第3297回例会（12月20日）			第3295回例会（12月6日）				
出席率		100%	出席率	54.8%	修正出席率	56.5%	
総会員数	名	出席数	名	総会員数	64名	メイクアップした人数	1名
出席義務会員名	出席免除会員名	欠席数	0名	出席義務会員	62名	出席免除会員	2名
						欠席数	27名

出席報告					出席委員会		
第3298回例会（1月10日）			第3296回例会（12月13日）				
出席率		69.8%	出席率	58.1%	修正出席率	59.7%	
総会員数	64名	出席数	44名	総会員数	64名	メイクアップした人数	1名
出席義務会員	62名	出席免除会員	2名	欠席数	19名	出席義務会員	62名
				出席免除会員	2名	欠席数	25名

—— 第3299回 新年 例会 2024.1.17 ——

今年の新年例会はプラザアーバンホールに隣接するクリスタルホールにおいて1月17日午後6時30分から会員36名出席のもと行われました。例会は小田山副幹事の司会進行で会長要件、幹事報告そして災害時対応に関するスピーチとして堤さんから電気関係、栗谷川さんから水廻り関係、小井田さんからプロパ

ンガス、石油などと職業に関して貴重なお話をいただきました。

懇親会は増田親睦会場委員長の司会で会長挨拶、そして乾杯はシャンパンで紺野会長の発声で飲食となりました。

中締めは橋本次期会長の次年度へのお願いの挨拶があり閉会となりました。

